

ブラインドサッカーラオスナショナルチーム

○背景・経緯

- ・ 2016年6月、我が国NPO法人「アジアの障害者活動を支援する会」が日本国際協力システム（JIGS）の助成プロジェクトを受け、ラオス唯一のブラインドサッカーチームを設立。同事業により、日本から指導者及び日本代表選手の短期招へいも実施。
- ・ 上記のほか、JICA草の根技術協力事業「ラオス障害者スポーツ促進プロジェクト」（2016年8月～2021年3月）の中で、年1回程度日本からブラインドサッカーの指導者を招へい。
- ・ 監督は邦人（島野洋一氏）がボランティアに務め、戦術面・技術面の指導を実施。ラオスの障害者スポーツでは初めて定期練習（週3回）を実現するなど、精力的に活動。
- ・ 2017年9月の第9回ASEAN Para Gamesにおいて、同チームが初出場で銀メダルを獲得。本年1月、選手及びスタッフ計16名に対してラオス政府は労働勲章三等を授与。
- ・ 本年2月には同チームが日本に遠征し、強化試合等を実施。



2016年6月、チーム発足当時の様子。まだサッカーシューズを買えない選手が多く、裸足やサンダルでプレー。



2016年11月、日本ブラインドサッカー協会のコーチと選手を招へいしてのワークショップ。手前青のユニフォームは当時日本代表10番の落合啓士選手。



2016年12月、国際大会@インドに参加（参加国：インド、マレーシア、ラオス）。決勝戦でPK戦までもつれ込むも惜敗。チーム発足半年での準優勝の快挙（後列左が島野監督）。



2017年9月、ASEANパラ大会で準優勝（参加国：タイ、マレーシア、ベトナム、ラオス）。決勝戦もタイ（世界ランク19位）に2-1と肉薄。